

「にぎやかな公共図書館」の実現に向けて～施設整備を契機とする空間づくり、サービスのあり方を中心として 個別協議事項(案)

新たな図書館への変革にはハード面の整備・ソフト面の改善が必要である。施設の更新（上池袋図書館改修、千早図書館改築）を踏まえ、論点を分類し、各論ごとに有効な方策について協議する。協議結果は、設計や運用に可能な限り反映する。

なお、更新を予定していない館でも可能な方策は積極的に導入する。

回次	協議事項（視点）	協議内容
6年度 第2回	① 居場所としての図書館	家庭や学校・職場とは異なるサードプレイス、個人や家族・仲間同士で気軽に立ち寄り、安心して過ごせる場所とするための方策について
6年度 第3回	② 地域コミュニティの拠点としての図書館	個人（家族・仲間同士含む）としての利用のみならず、図書館や本を通じて、他者とのつながりや交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図るための方策について
7年度 第1回	③ 地域の情報センターとしての図書館	知の拠点として、区民や利用者に対し、必要な情報、有益な情報を提供できる場所とするための方策について
	④ 生涯学習の拠点としての図書館	個人の関心、ライフステージ等に応じた多様な学びを支援し、また利用者同士の学び合いを促進し、学んだ成果を地域に還元できる場所とするための方策について
7年度 第2回	⑤ 読書活動の拠点としての図書館	年齢、障害の有無、母語等に関わらず、読書の楽しさに出会える場所、他機関との連携のもと、本を通じて、生活を豊かにできる場所とするための方策について

※時期・内容は変更する場合がある。

居場所としての図書館について

- 1 利用者全体の居場所づくりについて
- 2 対象者別の居場所づくりについて
- 3 その他

居場所としての図書館について（個人又は仲間同士の居場所） ※他者との交流は次回「地域コミュニティの拠点としての図書館」を中心に協議

★居場所＝①いたいときに、いつでも、いつまでも安心していられる場所、自分のペースで過ごせる場所②自分を受け入れてくれる場所、あたたかく寄り添ってもらえる場所③自分らしくいられる場所、ありがたい自分でいられる場所④ほっとくつろげる場所⑤興味・関心に応じてくれる場所etc

★居場所づくり＝図書館利用が前提⇒図書館に行きたい、図書館で過ごしたいと感じてもらえるよう、ハード・ソフト両面において魅力的な図書館環境を整備することが先決

A 対象利用者	B 各対象が抱える傾向・課題等	C 居場所づくりに有効と思われる環境整備、サービス、事業（例示）		Da 整備館 予定	Db 中央館 現状	Dc 地域館 現状	E 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、困難 ？：検討中、不明、評価困難	F 留意点等
Ⅰ 共通		ハード	①エリア、フロアのゾーニング（会話自由エリア、静寂エリア等）	○	×	×		ア. 原則会話自由＋静寂スペース確保とゾーニングの方針選択
			②座席の増設	○	×	×	むしろ縮減傾向	
			③席区分（静寂室、閲覧専用席、自習席等）	○	△	△	PC専用席、児童優先席等	イ. 座席の増設等に要するスペース確保と書架削減のバランス
			④座り心地のよい座席への更新	○	？	？		
			⑤グループ活動室の設置	△	×	×	新上池袋はホール未利用時に開放予定	ウ. 座席の時間制限のあり方
			⑥カフェコーナー、飲食スペースの設置	△	△	×	新上池袋は飲食スペース＋自販機 巣鴨：キッチンカー	エ. 利用者のマナー（飲食、大声、受忍の程度等）の確保
			⑦ラウンジの設置	○	×	×		オ. 利用者間の調和、譲り合い（ある利用者の居場所が別の利用者の居場所を奪うことにならないための方策）
			⑧一般席に係る電源の設置、提供	○	×	×	中央：設置も使用禁止	
		ソフト	①多様な利用者に訴求する展示、事業等	？	？	？		カ. 多様な利用者に訴求する展示、事業等の具体策
			②持ち込み資料による自習	○	×	×	現状黙認	
			③アロマ、音楽等雰囲気づくりの工夫	？	？	？	指定管理館で微香アロマ噴出	
			④DVD、CD、音楽配信	？	○	×	CDは現上池袋＋中央、ナクソスは未導入	
			⑤接遇向上、図書館員の意識改革	？	？	？		
Ⅱ 子育て中の利用者	1 仕事と子育ての両立で自分の時間が取れない。 2 子どもと一緒にないと図書館を利用できない 3 （育休中、在宅育児の場合）社会との接点の希薄化	ハード	①授乳室の設置（声掛け不要のもの）	○	○	×	新上池袋は調乳可能	ア. 子どものためだけでなく、自分自身のために過ごせる工夫
			②児童エリアの区分（周囲に気兼ねなく利用できるよう、会話自由とする。）	○	×	×		
			③児童コーナー付近への実用書等配架（自身の本を探し、読める環境を整備）	？	×	×		
		ソフト	①託児サービスの導入	？	×	×		
			②親自身向けの事業（育児相談、保護者自身のリラクゼーションを目的とした特筆すべきもの）	？	×	×		

A 対象利用者	B 各対象が抱える傾向・課題等	C 居場所づくりに有効と思われる 環境整備、サービス、事業（例示）		Da 整備館 予定	Db 中央館 現状	Dc 地域館 現状	E 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、困難 ？：検討中、不明、評価困難	F 留意点等
Ⅲ 小学生	1 下校後一人で過ごす。（放課後の居場所がない。） 2 費用がかからず、安全に過ごせる場所が少ない	ハード	①内装、什器の工夫（子どもがわくわくする世界観の創出）	？	？	？		ア.ティーンズ層、特に高校生の利用促進策
			②専用スペース、専用席の設置	○	○	○		
			③自習室の設置	○	？	？		
			④固定型遊具の設置	？	×	×		
		ソフト	⑤遊びの要素を取り入れたサービス、事業（ボードゲームの導入等）	？	？	？		
Ⅳ 中学生 高校生	1 学校や家庭になじめない 2 集中して勉強できる場所がない 3 読書離れ、図書館離れ 4 ヤングケアラーの増加	ハード	①専用スペース、専用席の設置	？	？	？	優先席中心	
			②自習室の設置	○	×	×		
			③ティーンズ向け図書の充実、紹介	？	？	？		
			④ティーンズ向けの事業、サービス	？	？	？	新上池袋：ファブスペース	
Ⅴ 若年層 （20代、30代）	1 社会人としての生きづらさ、不安感 2 自分らしさを見失う、自己肯定感の欠如 3 現状の物足りなさ、自分を高めたいという感情	ソフト	①若年層向け向け展示、講座、講演会	？	×	×		
			②参加型の取り組み、グループ化 ⇒次回テーマ（地域コミュニティ（他者との交流等）と関連	？	×	×		
Ⅵ シニア層	1 社会との接点の欠如、孤独、孤立 2 退職等による目的意識・生きがいの喪失 3 将来不安（健康、生活困窮等） 4 十分な余暇時間	ソフト	①シニアコーナーの設置	？	×	×		
			②シニア向け講座、講演会（趣味、生きがい、終活、健康維持等）	？	×	×		
			②映画会	○	×	△	現在上池袋のみ実施	
			③大活字本の充実	？	○	？		
Ⅶ 障害者	1 図書館利用へのハードル（アクセスが困難、使いづらい、他者への遠慮等）	ハード	①バリアフリーの一層の推進	？	？	？		
			②優先席の設置	？	○	？		
		ソフト	③バリアフリー図書の充実	？	○	？		
			④支援者向け、関係者向け研修	？	○	？		
Ⅷ 外国人 日本語を母語 としない利用者	1 日本の文化、習慣になじめない 2 日本語によるコミュニケーションが困難 3 相談相手が不在、相談方法がわからない	ソフト	①多言語、外国語図書の充実	？	△	？	蔵書数23区平均未達	ア.外国人、日本語を母語としない利用者の図書館利用の実態把握、意識調査の必要性
			②やさしい日本語の活用	？	△	？		
			③外国語版広報、情報発信の充実	？	？	？		

年齢別利用登録者、貸出数

年齢	区民数	うち図書館 登録者数	登録率	区民一人 当たり 年間貸出数	登録者一人 当たり年間 貸出数
0～6歳	12,049	2,426	20.1%	9.7	48.3
7歳～12歳	10,548	5,705	54.1%	18.2	33.6
13歳～19歳	13,557	4,213	31.1%	2.1	6.8
20歳～29歳	52,308	10,085	19.3%	1.0	5.4
30歳～39歳	49,420	8,730	17.7%	3.5	20.0
40歳～49歳	44,345	9,380	21.2%	5.8	27.6
50歳～59歳	41,105	7,562	18.4%	4.7	25.7
60歳～69歳	27,113	4,605	17.0%	5.0	29.7
70歳～79歳	24,494	3,512	14.3%	5.3	36.8
80歳以上	19,788	1,227	6.2%	1.8	29.1
計	294,727	57,445	19.5%	4.5	23.0

※一部按分数値があり実際のデータとは必ずしも一致しない

※登録者は6年4月1日現在、貸出数は令和5年度年間

7歳～30歳 年齢別利用登録者、貸出数

年齢	区民数	うち図書館 登録者数	登録率	区民一人 当たり 年間貸出数	登録者一人 当たり 年間貸出数
7歳	1,759	857	48.7%	22.3	45.9
8歳	1,801	999	55.5%	25.6	46.2
9歳	1,780	971	54.6%	18.8	34.5
10歳	1,720	1,004	58.4%	17.6	30.2
11歳	1,836	986	53.7%	13.1	24.4
12歳	1,652	889	53.8%	11.1	20.7
13歳	1,685	567	33.7%	4.3	12.6
14歳	1,648	555	33.7%	3.1	9.1
15歳	1,658	506	30.5%	2.6	8.6
16歳	1,615	523	32.4%	1.9	5.8
17歳	1,672	611	36.6%	1.4	3.9
18歳	2,347	671	28.6%	1.3	4.4
19歳	2,932	780	26.6%	1.2	4.6
20歳	3,252	911	28.0%	1.2	4.3
21歳	3,529	1,026	29.1%	1.5	5.3
22歳	4,557	1,110	24.3%	1.0	3.9
23歳	5,436	1,181	21.7%	0.8	3.7
24歳	5,664	1,118	19.7%	0.8	4.0
25歳	5,897	1,004	17.0%	0.8	5.0
26歳	6,170	1,016	16.5%	1.0	6.3
27歳	6,228	931	15.0%	1.1	7.2
28歳	5,850	895	15.3%	1.0	6.7
29歳	5,725	893	15.6%	1.3	8.3
30歳	5,749	829	14.4%	1.4	9.5

※登録者は6年4月1日現在、貸出数は令和5年度年間

「居場所」提供に関して連携可能性のある主な区内施設

施設名	施設概要
区民ひろば (26 施設)	・子育て世代、高齢者を中心に世代を超えて利用できる場所。 ・主な事業は、高齢者の健康づくりプログラム（筋力アップ体操などのプログラム）、親子あそびプログラム、サークル支援（活動スペース提供、作品展示）。
地域文化創造館（5 館）	・区民の身近な学習拠点。 ・主な事業は、春と夏に募集する区民教室（文化カレッジ）やサークル活動支援（活動スペース提供、貸室提供）、文化祭など
子どもスキップ（22 校）	・学校の教室、校庭、体育館を活用した、小学生の放課後の居場所。全小学校に設置。 ・主な事業は、学童クラブ（保護者が就労等の理由により放課後家庭が留守になる児童を保育）、一般利用（登録により区立小学校に在学している全児童が対象。放課後の居場所として自由に過ごせる）、放課後子ども教室（地域の方の協力のもと、学習やスポーツ、文化、地域交流等の活動を実施。工作、手芸、囲碁、将棋、書道、テニス、バレーボール、バドミントン、ダンスなど。）がある。
中高生センター（2 館）	・中高生を対象とした児童厚生施設（児童館） ・主な事業は、各種イベント（バンド支援（プロミュージシャンを招いての講座）、弁護士による子どもの権利講座、料理講座、各種相談窓口、指定無形民俗文化財の長崎獅子舞の練習など）

【その他】

子ども家庭支援センター（2 館）、区立小学校（22 校）、区立中学校（8 校）、区内大学（8 校）など